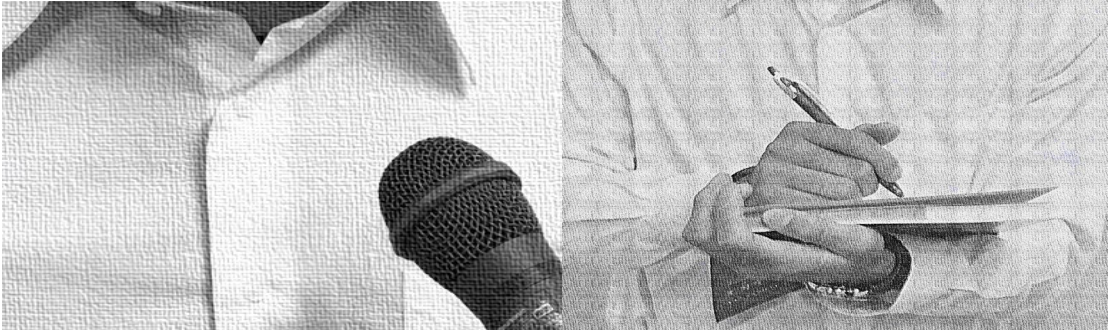


## 日本語教育を学んで No.3

### —橋本ゼミ修了生・卒業生へのインタビュー—



#### インタビューについて

本稿では、横浜国立大学の橋本ゆかり教授のゼミ卒業生と修了生にインタビューした内容を紹介していく。今回は、2名のゼミ生にお話を伺った。1人目は、修士課程修了者の朝倉郁子さん、2人目は学部生の時に橋本ゼミに所属していた野口拓海さんである。お二人には、下記の5つの項目に関して話してもらった。

#### インタビュー項目

1. 日本語教育を始めたきっかけ
2. 橋本ゼミでの思い出
3. 今の仕事に活かしているところ
4. 橋本ゼミに入ってよかったこと
5. 橋本ゼミをお考えの方々へ一言

#### 1人目：朝倉郁子さんのプロフィール

2011年から日本語教師をしております。最初は、海外で日本語を教えていました。帰国後は、専門学校で指導しておりました。今後は、特任助教として、日本国内の大学で指導します。

#### 1. 日本語教育を始めたきっかけ

#### Q. 日本語教育を始める前のことを教えてください

大学卒業後は、一般企業でデザイン関係の仕事をして、その後に飲食関係の企業に転職しました。その後「ホスピタリティの勉強をしたい」と考え、ニュージーランドに留学しました。留学中に英語を学んでいた時に「英語を教える仕事があるなら、日本語を教えるという仕事もあるのかな」と漠然と考えていました。留学開始から2か月後に、母の体調不良の連絡を受け、日本

へ帰国しました。

**Q. 日本語教育を始めたきっかけを教えてください**

帰国後は、留学時に漠然と考えていたこともあり、日本語教育を調べ始めました。その時に、大学に1年間の日本語教育に関する講座があることを知り、参加しました。その講座では、様々なことを勉強し、「日本語を教えるには、こんなにたくさんを知っておく必要があるんだ」と衝撃を受けました。講座終了後に、日本語教師になりたいと思い、420時間の日本語教師養成講座に通い始めました。

**Q. 日本語教師として出発したときのことについて教えてください**

私が日本語教師養成講座を修了したのは2011年でしたので、日本語教育の業界が東日本大震災の影響を受けており、日本にはあまり仕事がありませんでした。そんな中、タイの日本語教育機関で日本語教師を募集していることを知り、試験を受けたら採用してもらえたので、タイに行きました。タイでは、バンコクとシーラチャーで2年ほど日本語を教えました。帰国後は非常勤教師として、いくつかの場所で教えていましたが、しばらくして専門学校に専任教師として就職しました。

**Q. 横浜国立大学大学院に入ろうと思ったきっかけを教えてください**

日本語教師として働いている中で、自分が教える機会はたくさんあるけど、自分が勉強する機会は少なくなることを実感していました。何かを学んで、自分の指導に変化をつけたいとも思っていました。そこで大学院進学を漠然と考え始めました。私が勤めていた専門学校に、横浜国立大学大学院を修了された先生がいらっしゃいました。その先生から横浜国立大学大学院の現役生（当時）を紹介していただき、その方からカリキュラム等の詳しい説明をしていただきました。その説明を受けて、横浜国立大学大学院なら、今の仕事と学業が両立できると思い、受験しました。また、私は多読に興味を持っていました。多読の研究をする際に、どのようなアプローチがあるのかを調べ始めたところ、認知的アプローチを知りました。そこで、認知的アプローチ研究の第一人者でいらっしゃる橋本先生のもとで多読を研究したいと思い、橋本ゼミを希望しました。

**2. 橋本ゼミでの思い出**

**Q. ゼミでの橋本先生のご指導について教えてください**

私は、橋本先生のご指導がなければ修士論文を書くことはできなかったと思っています。橋本先生じゃなきゃダメだったと思います。橋本先生は、学

生の考えを尊重し、さらに引き出してください。具体的には、私がゼミの中で言ったことをもとに、橋本先生はたくさん質問してくださり、私の考えを引き出してくださいました。橋本先生はたくさん質問してくださるので、私自身が気づいていなかった考えや視点に気づく機会がたくさんありました。橋本先生は、研究のことだけではなく、論文の作法や書き方まで細かく指導してくださいました。また橋本先生は、どんな時もお丁寧に指導してくださいます。私は修士論文の研究テーマを具体的に決めるのに、かなり苦戦していましたが橋本先生は最後まで一緒に考えてくださいました。その他には、私が学会発表をした際は、直前まで一緒に確認してくださいました。

#### Q. その他の思い出を教えてください

私が修士課程に在籍したときは、橋本ゼミに博士課程の先輩方がいらっしゃいました。先輩方には、論文の体裁のことなど、本当に多くの部分で助けてもらいました。また、その他のゼミ生の方にも、いろいろ助けてもらいました。橋本先生はもちろんのこと、橋本ゼミのゼミ生の方にも本当に良くしていただきました。

#### 3. ゼミで学んだことと今の仕事の関係

指導する際に、「これは、本当に習得につながっているのか」と考えるよう

になりました。これにより、ただ指導するだけといったことや活動をこなすだけといったことがなくなりました。また、指導する中で興味を持ったことを学術的に考えることもできました。例えば、私が指導していた上級会話クラスでのディベート活動に関して、学術的に考察し、研究ジャーナルに実践報告として投稿しました。

#### 4. 橋本ゼミに入ってよかったこと

研究というものに、2年間しっかりと取り組めたという満足感があります。橋本先生はもちろんのこと、橋本ゼミのゼミ生の方は本当に素晴らしい方達ばかりです。橋本ゼミでは、全員が研究に真摯に取り組んでいます。そのため、橋本ゼミには「中途半端ではなく、真剣に研究に取り組む空気」があります。私は、その雰囲気感に感化されていました。そのような場所で、2年間研究に打ち込むことができたことがすごくよかったです。また、先程も申し上げたように、私は修了後も学会ジャーナルに投稿しています。これは、入学前の私には想像もつかなかったことです。2年間のご指導を通して、このような新たな世界へと導いてくださったことも感謝しています。

#### 5. 橋本ゼミをお考えの方々へ一言

橋本先生は、ゼミ生の研究が形になるまで、ご丁寧に指導してくださいます。また、研究で迷った時も一緒に考えて、

導いてくださいます。少しでも興味を持ったら、不安なままでも、ぜひ挑戦してみてください。私は何もわからないまま入学し、橋本ゼミでの2年間を通して研究の面白さを知りました。そして、修了後も、研究ジャーナルに投稿するまでになりました。橋本先生のご指導があれば、大丈夫です。絶対にあきらめないでください。

## 2 人目：野口拓海さんのプロフィール

大学卒業後、インターネット通信関係の一般企業に就職しました。そこに3年半ほど勤め、昨年別の会社に転職しました。今は、金融IT関係の会社に勤務しております。

### 1. 日本語教育を始めたきっかけ

#### Q. 横浜国立大学に入学しようと思った理由を教えてください。

一言でいうと、親の提案と二次試験の内容でした。大学受験を開始したときは、アウトドアが好きだった為、授業に登山やスキーなどがある別の大学を目指していました。その大学を受験するには、センター試験で理系科目を1種と社会科目を1種選択して受ければ大丈夫でした。しかし、マークシートミス等が怖くて、念には念を入れよということで、理系科目と社会科目を2種ずつ選択して受験しました。センター試験の結果が思いの外よくて、親から「この成績なら横国に行けるんじゃない？」と提案を受けたのが横浜

国立大学を受験しようと思ったきっかけです。また、自分で横浜国立大学の入学試験のことを調べたら、二次試験が体育受験可能であることがわかりました。「もう、2次試験のために赤本を開いて勉強したくないな」と思っていた私にはとても魅力的でした（笑）。あと、「横浜国立大学」という名前の響きのカッコよさにも惹かれました（笑）。こんな経緯で、横浜国立大学を偶然受験し、入学したのが正直なところです（笑）。

#### Q. 教育学部を選んだ理由を教えてください。

まずは、先程も言いましたように、二次試験で体育受験が可能だったからです（笑）。その他の理由としては、職に困らないように、人生の保険として教員免許を取得しておこうという考えも正直ありました。また、私の祖父が教員でして、常日頃から教員の素晴らしさを説かれていました。そのため、教育学部に入ったらおじいちゃん孝行になるかなという思いもありました。

#### Q. 日本語教育を選んだ理由を教えてください。

最初は、中学か高校の体育教師を目指そうと考えておりました。しかし、私の代では、中高の体育教育を専攻希望する学生が多く、レポートでの選抜が行われました。体育受験で入学したに

も関わらず、私は選抜に落ちてしまいました（笑）。中高の体育教育専攻の選考を弾かれた私に残された選択肢はあまり多くはなかったですが、唯一、興味を引いたのが日本語教育でした。1つ目の理由としては、私のクラス担任でもある橋本先生が日本語教育のコースを担当されていたことです。1年生の時から、橋本先生の授業を受講していました。橋本先生にご指導いただけるなら安心だと思い、選びました。2つ目の理由は、教育の中でもある意味特殊なカテゴリであることです。横国の教育学部の中でも、小中高の英国数理社等の科目に触れる機会は多々あるものの、外国の方に行なう教育に触れることは珍しいと思いました。どうせ免許を取るなら面白そうなものをやってみたいと思い、選びました。

**Q. 橋本ゼミを選ぼうと思ったきっかけを教えてください。**

先述の通り、クラス担任が橋本先生だったことが一番強いかもしれません。あの橋本先生のゼミであれば心置きなく研究に励めるだろうと信頼しておりました。それに加えて、ゼミを選択する際に「この先生のゼミだったら、このような研究ができる」といった情報がありました。その情報を見て、橋本先生が指導されている研究内容と自分がやりたいことが合っていたことも橋本先生のゼミを選んだ理由の1つです。

**2. 橋本ゼミでの思い出**

**Q. ゼミでの橋本先生のご指導について教えてください**

橋本先生は、学生の意見をしっかりと聞いて尊重してくださいます。例えば、私が卒論のテーマを決める際に、橋本先生は私の意見や興味を話す機会をくださいました。私の話の内容をもとに、橋本先生はフィードバックやアドバイスをしてくださいました。研究が進み、その他の部分の話し合いになっても、橋本先生はこのスタンスで指導してくださいました。そのおかげで、自由にやらせてもらっている感覚があり、そのうえで軌道修正をしてくださるので、やらされているのではなく常に自分でやっている実感がしっかりとありました。

**Q. その他の思い出を教えてください**

たくさんあります（笑）。ゼミで餃子パーティーをしたり、ロールキャベツパーティーをしたり、食べ物を持ち寄ってパーティーをしたりしました。また、ゼミ合宿も本当に楽しかったです。その合宿では、4年生が自分の研究に関するプレゼンをして、夜はバーベキューや花火をしました。朝は、みんなで海辺を散歩して、その後に橋本先生が朝ごはんはんにタコスを作ってくださいました。その他に個人的に記憶に残っているのは、私がゼミの時に音楽を流すことを提案したら橋本先生が受

けて入れてくださり、カフェミュージックを毎回流していたことです。

### 3. 橋本ゼミで学んだことと今の仕事

私は教育職に就いていないのですが、それでも橋本ゼミで学んだことは卒業後の仕事に十分に活かしていると思います。例えば、橋本ゼミで鍛えられた論理的思考は仕事をする上で、とても役に立っています。その他には、橋本先生に指導していただいた「自分の考えを如何に相手にわかりやすく伝えるか」という視点も本当に参考になっています。

### 4. 橋本ゼミに入ってよかったこと

とにかく楽しかったことです。本当に楽しかったです。充実した青春の時間を過ごしたという実感があります。自分の人生を振り返った時に、このような楽しかった思い出があるということは、本当に素敵なことなんだと思います。橋本先生には本当に良くしていただきました。その当時もそうのように感じていましたが、今振り返ってみてより強く思います。素敵な思い出が多く、こうした時間を提供してくださった橋本先生には、改めて感謝の気持ちが溢れてきます。

### 5. 橋本ゼミをお考えの方々へ一言

変な言い方ですが、私は橋本ゼミを選んだことを一回も後悔したことはありません。橋本先生は、のびのびと自

由にやらせてくださる本当に素敵な先生です。また、橋本ゼミには、フィールドワークを経験する機会や外国人児童生徒のことなどを学ぶ機会があります。そのようなことに興味がある方は、ぜひご検討ください。

### おわりに

本稿では、橋本ゆかり教授のゼミ修了生（朝倉郁子さん）と卒業生（野口拓海さん）にインタビューした内容を紹介した。本稿が橋本ゼミのゼミ生同士のつながりや橋本ゼミへの入学を検討する方々向けの情報提供として役に立てば幸甚の限りである。今回のインタビューを通して感じたことは、「修了生と卒業生の心の中には、理由や形は違えど、橋本ゼミで過ごした時間がかけがえのないものとして残っていること」だった。ゼミ生が集まって、橋本ゼミでの思い出話ができる時が一日でも早く来ることを心より願い、筆を擱かせていただく。

執筆者：あいだたかのり（山梨大学 助教）